

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2018-57477(P2018-57477A)

【公開日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2018-014

【出願番号】特願2016-195375(P2016-195375)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月27日(2019.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御される遊技機であって、

励磁相の切り替えに同期して駆動力を発生させることができ可能な駆動部と、
前記駆動部の駆動力によって動作する演出可動体と、

設定した時間間隔で前記励磁相を切り替える切替手段と、を有し、
前記切替手段が、

前記駆動部の予め定められた所定駆動期間中、第1の間隔と前記第1の間隔よりも長い第2の間隔との交互の間隔で前記励磁相を切り替えるものであるとともに、

予め定められた所定の設定周期ごとに前記励磁相を切り替えるか否かを判定し、前記第2の間隔を、その前記設定周期に対する比が、前記第1の間隔の前記設定周期に対する比に1を加えた比となる間隔とするものであり、

前記第1の間隔が、その一定周期で前記所定駆動期間の間、連続して前記励磁相の切り替えが行われたときに、前記駆動部が前記励磁相の切り替えに同期して駆動されないことがある時間であり、

前記第2の間隔が、その一定周期で前記所定駆動期間の間、連続して前記励磁相の切り替えが行われたときに、前記駆動部を前記励磁相の切り替えに同期して駆動可能な時間であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明に係る遊技機は、

予め定められた制御条件の成立に基づいて遊技者に有利な特別遊技状態に制御される遊技機であって、

励磁相の切り替えに同期して駆動力を発生させることができ可能な駆動部と、
前記駆動部の駆動力によって動作する演出可動体と、

設定した時間間隔で前記励磁相を切り替える切替手段と、を有し、
前記切替手段が、

前記駆動部の予め定められた所定駆動期間中、第1の間隔と前記第1の間隔よりも長い第2の間隔との交互の間隔で前記励磁相を切り替えるものであるとともに、

予め定められた所定の設定周期ごとに前記励磁相を切り替えるか否かを判定し、前記第2の間隔を、その前記設定周期に対する比が、前記第1の間隔の前記設定周期に対する比に1を加えた比となる間隔とするものであり、

前記第1の間隔が、その一定周期で前記所定駆動期間の間、連続して前記励磁相の切り替えが行われたときに、前記駆動部が前記励磁相の切り替えに同期して駆動されないことがある時間であり、

前記第2の間隔が、その一定周期で前記所定駆動期間の間、連続して前記励磁相の切り替えが行われたときに、前記駆動部を前記励磁相の切り替えに同期して駆動可能な時間であることを特徴とする遊技機である。